

そ の 他

◆異臭味障害

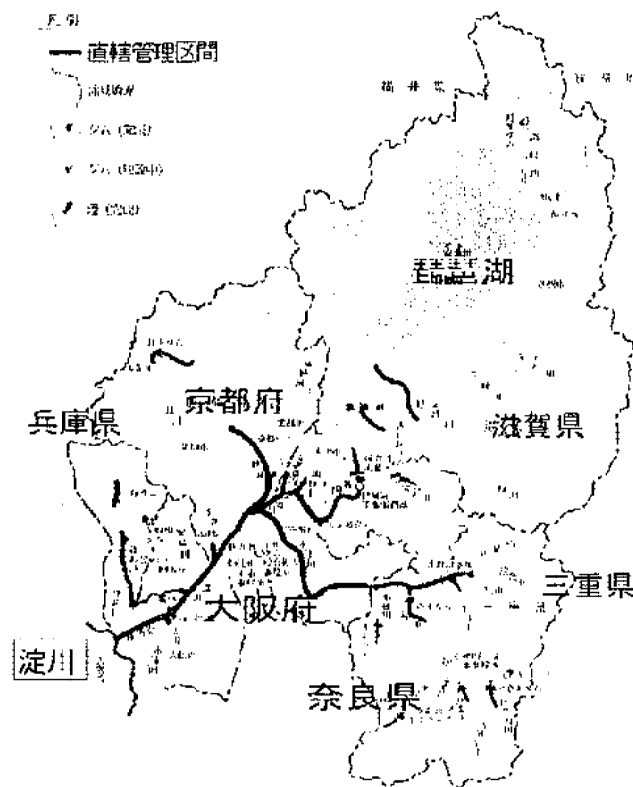
水道水の臭味（臭気および味）が異常な場合を言います。上水関係で問題になっているのがカビ臭で、その原因物質としてジオスミンと2-メチルイソボルネオールが一般的に知られています。浄水処理でも完全な脱臭は困難であり、これらの物質は、土中の放線菌や、藍藻類のうちフォルミディウム属などに属する、ある種のプランクトンや付着藻類によって生産されます。

◆一級水系（109水系）

国土保全上または国民経済上特に重要な水系で、政令で指定されたものを言います。一級水系の管理は基本的に国土交通大臣が直接行います。

一級水系は現在、全国で109水系あり、淀川水系はこのうちの1つで、流域×面積では全国で7番目の広さです。

●位置図



◆確保流量

河川の生態系や景観の維持および塩害防止等の本来河川が持っている機能を正常に維持するために必要な流量と既に水道水や農業用水等の取水のために確保している流量を合計した流量のことを確保流量といいます。

◆河川管理施設等構造令

河川法第13条（河川管理施設等の構造の基準）第2項で、河川管理施設や許可工作物を設置する際にダムや堤防等主要なものの構造について河川管理上必要とされる技術的基準は政令で定めるとなっています。

この政令を河川管理施設等構造令といいます。

昭和51年7月に制定され、その後、技術向上等により随時改正されており、最終改正は平成12年6月です。

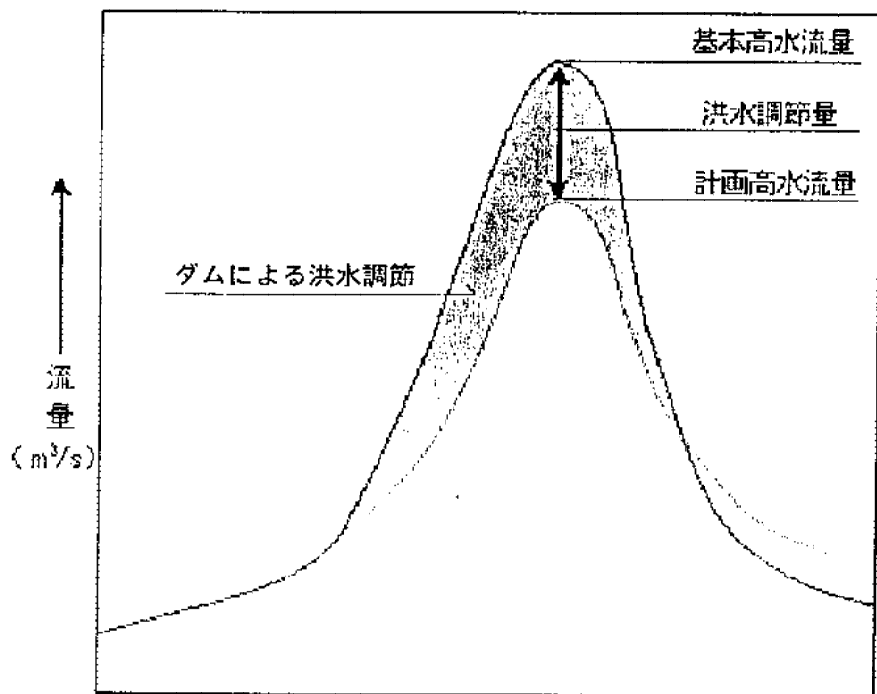
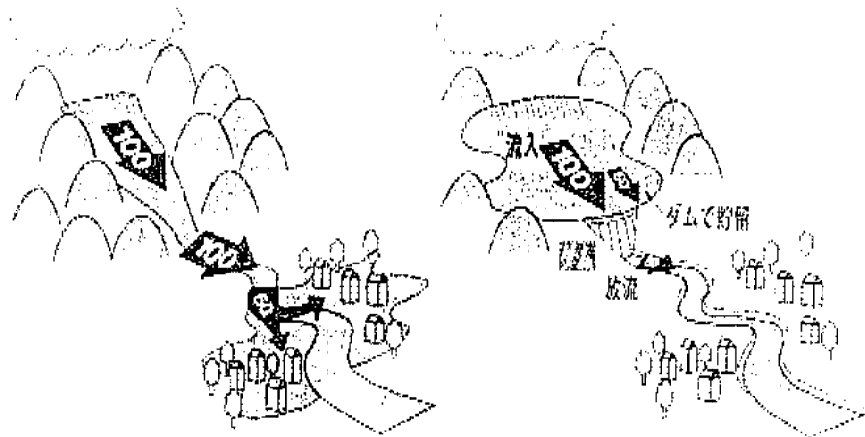
なお、この河川管理施設等構造令には堤防の天端幅や余裕高*、橋脚間の距離等が示されています。

◆基本高水流量（きほんこうすいりゅうりょう）

基本高水は、洪水を防ぐための計画で基準とする洪水のハイドログラフ（流量が時間的に変化する様子を表したグラフ）です。この基本高水は、人工的な施設（ダムや遊水地等）で洪水調節が行われていない状態、言いかえるなら流域に降った計画規模*の降雨がそのまま河川に流れ出た場合の河川流量を表現しています。基本高水流量は、このグラフに示される最大流量から決定された流量の値です。

◆計画高水流量（けいかくこうすいりゅうりょう）

基本高水流量*を河道（河川）が受け持つ流量と、ダムや遊水地による洪水調節（ダムや遊水地での貯留）で受け持つ流量に配分したものの中、河道が受け持つ流量で河道の改修計画の基礎となります。



時間
基準地点におけるハイドログラフ

◆公利

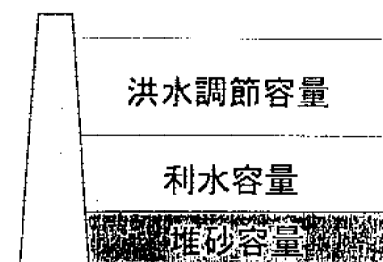
「公共の利益」のこと

例えば、ダム等により、河川の流量や水位を安定させ、利用できる流水を増加することにより、各種水利（水道用水、工業用水、農業用水、発電用水）を可能とするものです。

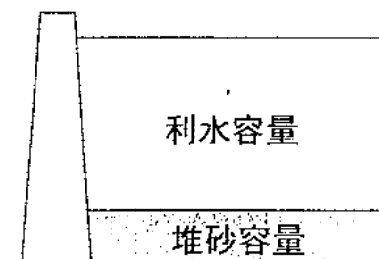
◆洪水調節容量

洪水調節機能を有するダムにおいては、洪水時にダムに流入する水を貯め、ダムから放流する量を少なくして下流を洪水被害から守っています。このように洪水時に水を貯めることができるように、あらかじめダムの水位を下げ確保した容量を洪水調節容量といいます。

発電ダムなど、利水専用のダムにおいては、洪水調節容量を持たないので、洪水時にダムに流入する水量と同じ水量がダムより放流されることになります。このため、下流に対する治水効果はありません。



洪水機能を有するダム



利水専用のダム

(発電、かんがい専用ダムなど)

◆砂礫河原

河川の本来ある自然形状の一つで、増水時には水没するが、通常は露出しており、砂や小石が多く広がった場所です。



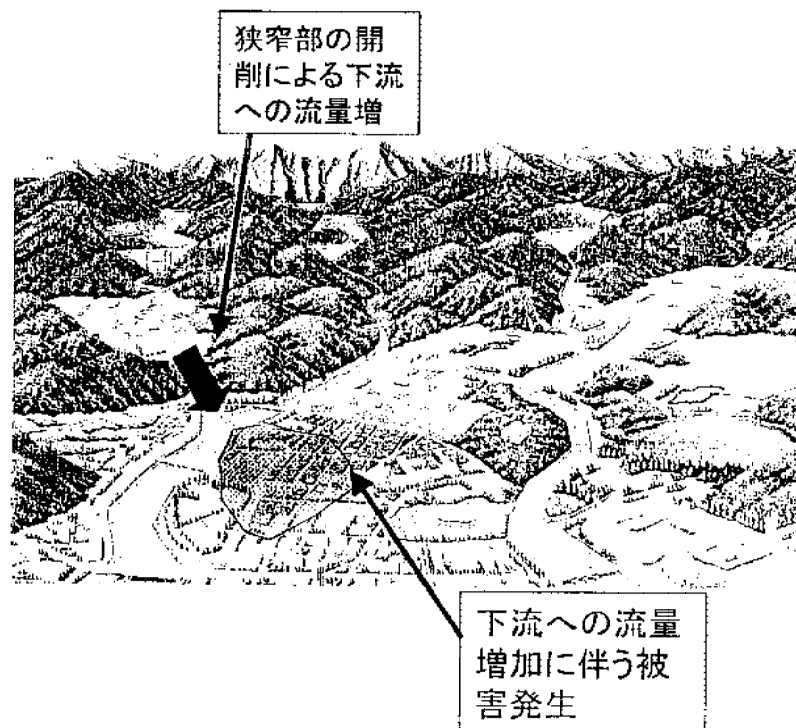
猪名川

◆上下流バランス

狭窄部を挟んで上流と下流に分かれている河川の場合、上流部の浸水対策として築堤や狭窄部の開削を行うと下流への洪水流量が増加し、下流部が今より危険になります。このような場合、上下流部を調整し、お互いに治水対策を図ることが重要であり、これを「上下流バランス」と称しています。

また治水対策の効果を評価する際には、洪水を受ける河道の大きさ「量」と堤防の強度「質」の両面から検討する必要があります。

「淀川水系河川整備計画策定に向けた説明資料(第2稿)」においては、狭窄部の開削は当面行わず、下流部では堤防強化対策の実施を、上流部では既往最大規模の洪水による浸水被害の解消を図ることとしており、これを整備計画では「上下流バランス」としています。

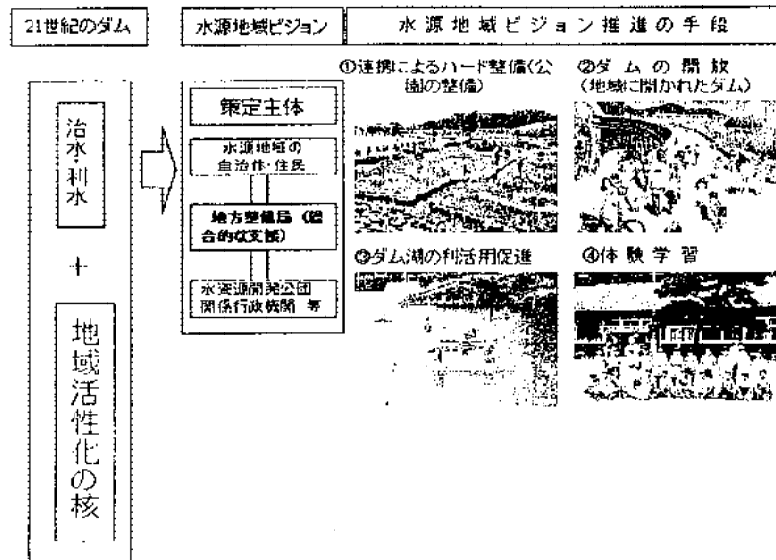


◆水源地域ビジョン

「水源地域ビジョン」とは、水源地域の自治体、住民等がダム管理者（事業者）と共同で策定主体となり、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図り流域内の連携と交流によるバランスのとれた流域圏の発展を図ることを目的に、下流の自治体や関係行政機関等に協力を求めながら有識者等を交えた組織を設置し策定するものです。

管理ダムについては、おおむね5年以内、建設中ダムについては管理移行するまでに順次策定していく予定です。

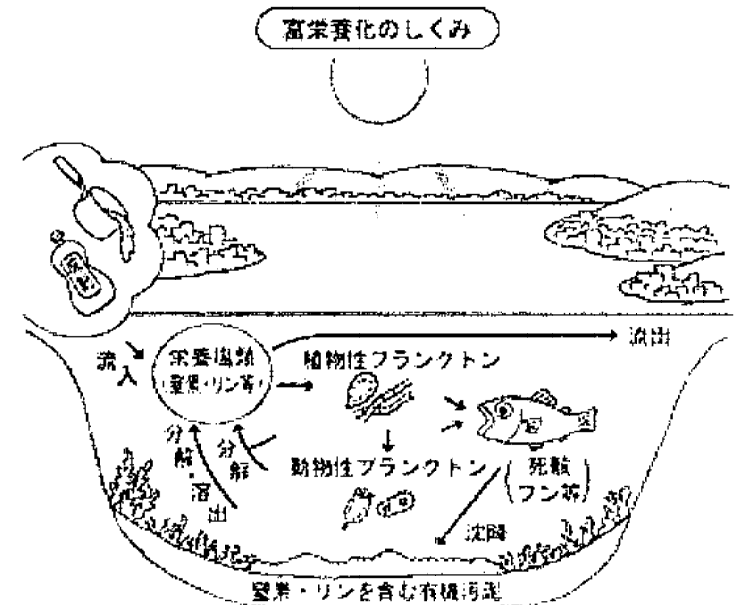
水 源 地 域 ビ ジ ョ ン



◆全窒素（T-N）

水中に存在する窒素の総量という意味ですが、気体としての窒素ガスとして溶存している窒素は含まれません。

富栄養化の指標として重要な項目です。富栄養化の指標としては、全窒素（T-N）がよく使われます。富栄養湖と貧栄養湖の境界は、0.15～0.20mg/L程度とされています。窒素が低濃度の場合、栄養塩類が少ないため、良好な水質を維持しますが、高濃度の場合、栄養塩類が増え藻類が大量に発生し、酸素を消費するため、水中の酸素が欠乏し魚類の酸欠等を引き起こします。



（出典：京浜河川事務所ホームページ）